

所沢市立所沢中学校 学校だより

所中だより



令和4年1月11日 第9号

学校教育目標

＜自主的な生徒＞

心豊かな生徒（感謝）

自ら学ぶ生徒（挑戦）

たくましい生徒（忍耐）

校長 岩間 健一

【特色ある学校づくり宣言】本校は、「さわやかな挨拶・心に響く合唱・地域に根ざす学校」を目指します。

〒359-1118 所沢市けやき台2-44-1

TEL 04-2922-4138(FAX:4139)

<http://www.tokorozawa-stm.ed.jp/tokorozawa-jh/k> E-mail tokorozawa-j@tokorozawa-stm.ed.jp

新年おめでとうございます

皆様の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます

— 江戸の子育てに学ぶ —

校長 岩間 健一

皆様には、令和4年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、日本は教育論議が盛んな国だと言われますが、実は日本人の教育論好きは、現代に始まったことではなく、江戸時代にまでさかのぼります。常に子どもを見守り、かまう大人たち。幕末・明治に来日した欧米人は、子どもと睦み合う日本人の姿に、一様に感嘆の声をあげました。

明治初期に来日し、東京から北海道まで旅行したイギリス婦人、イサベラ・バードは、日光からの手紙で「私はこれほど自分の子どもをかわいがる人々を見たことがない」と書いています。「常に子どもを抱いたり背負ったりして、歩く時には手を引いてやる。子どもの遊んでいる様子をじっと見守り、時に一緒に遊んでやったりする。子どもがいない時は、さびしそうにしている。」

やはり、明治初期に来日し、大森貝塚を発見したアメリカ人モースは、次のように記しています。

「祭りには、大人はいつも子どもと一緒に遊ぶ。提灯（ちょうちん）や紙人形で飾った山車（だし）を、子どもたちが太鼓を叩きながら引っ張って歩くと、大人もその列につき従う。それを真似て、小さな子どもも小さな車を引いて回る。世界中で日本ほど子どもが親切に取扱われ、そして子どものために深い注意が払われる国はない。」

江戸時代には、すでに子育てについても様々な本が書かれ、よく読まれていたようです。「子育ての工夫」について、以下のようなことが記されています。

『親子の間は親密に』（江戸時代後期の国学者・橋守部が記した「待問雑記」より）

「その子の幼い時から、朝晩、側近くに親しく寄せて、おかしくもない子どもの話も、面白そうな様子で聞き、親からも年齢相応のことを話して聞かせ、楽しみも共にし、打ち解けた遊びも共にするようにして、大きくなってからも、ひたすら親しみ睦まじくすることを、親のほうから習わせるように。そのようにすれば、悪いことがあった時に叱っても、たまのことだから、快く聞き入れるだろう。」

『時を失わず共に励め』（海防論の先駆者・林子平が記した「父兄訓」より）

「すべて幼少の者は、万事、人真似をするものだ。その中でも、天然の血筋で、父兄を他に並ぶ者のないほどすぐれた者と思い、何事も父兄のすることを手本にするものだ。だから、父兄がそのようにすれば、子弟は自然に八徳（孝・悌・忠・信・勇・義・廉・恥）を身に付け、また、文武の諸芸をし、覚えるものだ。これは、打たず叱らず、身をもって子弟を導く方法だ。これ徳行という。（親自身が子どもの手本であることを意識して、まず自分から学問や武芸に励む。）」

『書に親しませる』（江戸中期の儒学者・湯浅常山が記した「文会雑記」より）

「子を教えるには、ともかく『訓蒙図彙（きんもうずい）』などを渡して、片一方に絵があり、もう一方に文字があるものを見習わせ（見慣れさせ）、面白くなるようにして、退屈させないようにさせることが第一だ。八つ、九つにもなったら、一字、二字ずつ、偏・つくりも習わせ、こちらから無理に読書などむやみにさせず、絵のある書物などを見せて、自然に書物を好むようにさせることが肝心である。」

現代と江戸時代では当然異なる面も多々あり、一概に論じることはできませんが、それでも現代に通じる内容も多くあり、また、子どもに携わる者として考えさせられる内容があります。

（参考文献：「江戸の子育て」 中江 和恵 著 文春新書）

家庭教育学級 閉講式 12/10

今年度は、感染症対策を行いながら、年間9回の講座を実施しました。閉講式では、社会教育課 塚田 幸久 指導員より修了証が授与されました。講座の内容は他校の模範となるものとの話を、塚田 指導員から頂きました。家庭教育学級運営委員長であります 並木 克之 PTA会長、学級長であります 滝沢 文子 教養委員長をはじめとする運営委員の皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。



Chromebook 利用委員会

Chromebook が生徒に1人1台配布され、活用が進んでいるところですが、同時に使い方について生徒自身が自覚を持って使用することが大切になります。そこで本校では、教師からの指導だけではなく、生徒が自分たちで話し合い、ルールやマナーを考え、実行していくことを目的として、10月に「Chromebook 利用委員会」を設立しました。各学級や委員会でも協議を行い、12月末に生徒自身によるルールが出来上がりました。



<所中生の活躍>

女子テニス部 埼玉県都市対抗学年別ソフトテニス大会所沢市予選会 12/11
1年女子 第3位 県大会出場!
 酒井 美月季・田中 優羽 ペア

「税の標語」(所沢間税会)

佳作 川合 心美(1年)
 「税金で 命を守る コロナ対策」

郷土を描く児童生徒美術展(埼玉県美術教育連盟) 特選 望月 美鈴(3年)
入選 染谷 斗陽・小山 未紗・牧野 桜・眞山 ゆいか・石橋 みひろ
 佐藤 あやの・下川 怜奈・榎本 茉莉花(以上2年)
明るい選挙啓発ポスター(所沢市明るい選挙推進協議会) 入選 清水 彩来(2年)
環境イラストコンテスト(武州ガス株式会社)
佳作 神部 心菜・田上 杏果・猿渡 双葉・下川 怜奈(以上2年)

1月・2月の主な行事予定

※最終下校時刻 1/11[15:00], 1/12~[17:00]~2/10, 2/14~[17:30]~2/28

1月

10日(月) 成人の日
 11日(火) 3学期始業式、3時間授業、給食なし
 部活動弁当持参、給食費等引落
 12日(水) 学年朝会(1年)、給食開始
 PTA 本部会(19:00~)
 13日(木) 木曜日課、学年朝会(3年)
 専門委員会
 14日(金) 学年朝会(2年)、1・2年二者相談(5時間
 授業、1月21日(金)まで)
 18日(火) 生徒会朝会(放送)
 19日(水) 3年私立高校入試事前指導(5校時)
 ☆県立特別支援高等学校職業科入試(~20日(木))
 20日(木) 木曜日課、2年校外学習しおり集会(5校時)
 22日(土)・23日(日) 私立高校入試中心日
 25日(火) 2年校外学習(東京巡り)
 27日(木) 木曜日課、
 1・2年ステップアップ調査(1~3校時)
 28日(金) ☆県立特別支援高等学校職業科入試発表
 31日(月) 学校保健委員会(15:00~)

2月

1日(火) 全校朝会
 2日(水) 3年卒業研究学年発表会(5校時・変更あり)
 3日(木) 学力向上推進事業クリエイト授業研究①
 5時間授業(特別時間割)

4日(金) 学力向上推進事業クリエイト授業研究②
 5時間授業(特別時間割)
 7日(月) PTA常任理事会(19:00~)
 8日(火) 生徒会朝会、専門委員会(3年最後)
 ☆県立特別支援高等学校普通科入試
 10日(木) 新入生体験入学、保護者説明会(受付
 14:00~)、45分4時間授業
 安全点検、給食費等引落
 県公立高等学校入学願書等郵送提出配達指定日
 11日(金) 建国記念の日
 15日(火) 3年生期末テスト1日目、学年朝会(1年)
 16日(水) 3年生期末テスト2日目、学年朝会(2年)
 17日(木) 学年朝会(3年)
 県公立高等学校志願先変更期間
 (18日(金)16:00 まで)
 ☆県立特別支援高等学校普通科入試発表
 19日(土) 1・2年期末テスト前諸活動停止(~2/25朝まで)
 23日(水) 天皇誕生日
 24日(木) 1・2年期末テスト1日目
 県公立高等学校学力検査(3年給食カット)
 25日(金) 1・2年期末テスト2日目
 県公立高等学校実技検査・面接
 (3年給食カット)

※ 1月に入り、感染者数が急増しています。
 上記予定は現時点でのものであり、今後の感染状況等によって変更もあります。

☆ 「所中だより」は、本校の教育活動の情報提供手段として、月1回を目途に発行しております。生徒の活躍や成果など、氏名・写真を載せて紹介していきます。個人情報として氏名や写真を掲載してほしくない方は、あらかじめ担任等を通してお申し出ください。
 ☆ 「所中だより」や「学校発文书」等が、所沢中ホームページでご覧いただけます。